

JA 全農 ET センターニュース平成 16 年 1 月号

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申しあげます。
今月号は昨年 11 月に北米出張した際に入手した米国のサンシャインジェネテック社の ET 情報をお届けします。

当社は米国，ウィスコンシン州の州都であるマジソンから車で 45 分ほどの郊外にあるホワイトウォーターに位置します。当社のオーナーの 1 人である，獣医師の Dr.Chris Keim に当社の概要を確認しました。当社は 2 人の獣医師が，1989 年に会社化し，現在，従業員 6 名で運営されています。ドナーを預かり，ホルスタイン種，ブラウンスイス種を中心に採卵し，当社の受卵牛に移植する方式が 70% 残り 30% が農家での現地採卵を行っています。年間採卵頭数は 1200 頭で 1 頭あたり平均 6.0 個の正常卵を回収しています。当社内の受卵牛に移植した場合の受胎率は新鮮卵で 74%，凍結卵で 70%（ステップワイズ法：72%，エチレングリコールによるダイレクト法：62%）でした。年間の移植頭数は約 2500 頭でした。凍結卵の多く（約 2000 個）は主としてブラジル，アルゼンチン・EU・日本・韓国・中国に輸出されています。

ここでの特徴としては，預かりドナー（未経産，乾乳，泌乳牛）の飼養管理がすばらしく，粗飼料分析に基づき，各ステージの飼養メニューを専門のコンサルタントから定期的に入手し，管理者が実行しており，過肥牛も痩せすぎの牛もなく，特に冬季は-20 まで牛舎温度が低下しても，エネルギーの増量等で適切に補えば採卵性・受卵牛の受胎率の低下はないとのことでした。また，超音波診断器を用いたサービスとして，妊娠日齢 55-90 日の間で，胎仔の性別を実施，近年では農家での依頼が増えており，ケースによっては雄の胎仔はプロスタグランジンを用いて人工流産させるとのことです。また過剰排卵処置 2-3 日前に主席卵胞を吸引除去する処置を農家が希望する場合（有料）は実施していました。その効果を確認したところ，排卵時期が一致してそろうので，とくに，よく取れる牛の正常卵率は明らかに向上するとのことでした。また，農家サイドでの移植技術料金は新鮮卵移植が 150 \$ /頭，凍結卵ステップワイズ移植が 125 \$（凍結料金 50 \$ /受精卵），エチレングリコールによる凍結胚のダイレクト移植が 75 \$ と日本の現場での料金と大きな隔たりはありませんでした。

さらに，このオーナーのこだわりとして，毎年，米国最大のショーであるデーリーエキスポに社所有のブラウンスイス種のドナー牛を出品しており，オールアメリカンにも何頭も選出されていることと，ブラウンスイスの受精卵が必要な場合はいつでも輸出できることを強調していました。この会社のホルスタイン種凍結受精卵を 1995 年に北米から始めて全農が輸入し，茨城県つくばにて移植試験を行ないましたが，その時の受胎率は 90% とこの会社の凍結技術には信頼がおけます。

次号からも，北米 ET 情報を連載でお届けします。